

問1 日本への資源供給において重要な役割を果たすオーストラリアの鉱山について説明した次の文章のうち、最も適切なものはどれか。なお、この鉱山では、広大な平地に巨大な円形の掘削孔が作られ、その壁面が重機やトラックが移動できるように渦巻き状の階段構造になっているものとする。（2020年 徳島県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 地下深くに垂直の穴を掘り、そこから横方向に坑道を広げる「坑内掘り」が行われている。 | 2. 海底に堆積した資源を、大型の吸引機を用いて海上に引き上げる採掘が行われている。 | 3. 地表から直接地面を大規模に削り取って掘り下げる「露天掘り」が行われている。 | 4. 山の斜面を階段状に切り開き、水不足を補いながら作物を育てる「棚田」が形成されている。 |
|--|--|--|---|

問2 オーストラリアの食文化において、紅茶を飲む習慣などのイギリス文化が色濃く反映されている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. イギリスと地理的に近接しており、古くから陸路を通じて文化が伝播したため | 2. アメリカ合衆国の独立の影響により、イギリスがすべての食料生産拠点を移したため | 3. かつてイギリスの植民地であった歴史があり、当時の生活習慣が継承されているため | 4. フランスとの貿易摩擦を避けるため、イギリスとの経済同盟によって食文化を統一したため |
|--|---|---|--|

問3 南アメリカの内陸部に位置するアマゾン川流域の環境問題について、その背景と現状を説明した文として最も適切なものはどれですか。（2017年 沖縄県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 先進国からの工場進出による酸性雨が深刻化し、伝統的な遊牧生活が送れないほど森林が減少している。 | 2. 1990年代以降、政府による保護政策と植林活動が成功したため、森林面積は年々改善している。 | 3. 経済発展を目的とした道路建設や開発が進み、伐採された熱帯林の跡地が牧場や農地に変えられている。 | 4. 希少な生態系を保護するため、域内全域での伐採が法律で完全に禁止され、現在は未開発の状態が保たれている。 |
|--|--|--|--|

問4 南アメリカのブラジルにおいて、地平線まで続くような広大な農地で、複数の大型コンバインを同時に稼働させて行われている農業の特色として、最も適切なものはどれですか。（2023年 群馬県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 標高の高い傾斜地を切り開き、手作業で段々畑をつくって栽培する方式 | 2. 家族を中心とした労働力により、限られた土地で多種類の作物を育てる方式 | 3. 熱帯雨林を焼き払ったあとの土地で、数年ごとに移動しながら行う方式 | 4. 大型の農業機械を導入し、大豆などを効率よく大量に生産する方式 |
|-------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|

問5 ある国の産業・土地利用の統計において、人口が約2億人という規模であり、農地面積の内訳を見ると「耕地や樹園地」が約8,000万ヘクタールであるのに対し、「牧草地」が約1億9,000万ヘクタールと非常に広大である場合、この国に該当する記述として最も適切なものはどれですか。（2017年 山形県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------|---|
| 1. 広大な国土を持つが、寒冷な気候のため牧草地の利用は限定的である。 | 2. 熱帯雨林の保護を最優先しており、国内に牧草地はほとんど存在しない。 | 3. 南アメリカ最大の人口を抱え、肉牛の放牧が盛んである。 | 4. 人口が約3,000万人と比較的少なく、沿岸部での漁業生産が産業の中心である。 |
|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------|---|

問6 世界の諸大陸の気候帯面積割合を示した資料において、ある大陸は熱帯が16.9%、温帯が25.9%であるのに対し、乾燥帯が57.2%と過半数を占めているという特徴があります。この大陸の名称と、その自然環境を活かした産業の組み合わせとして適切なものを選びなさい。（2021年 茨城県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. アフリカ大陸 ― 全域が熱帯であるため、赤道付近を中心に力カオなどの商品作物の栽培が行われている。 | 2. ユーラシア大陸 ― 乾燥帯の面積が非常に小さいため、全域で季節風を利用した稲作が行われている。 | 3. 南アメリカ大陸 ― 温帯の面積割合が最も高いため、パンパと呼ばれる草原で大豆の栽培が行われている。 | 4. オーストラリア大陸 ― 乾燥に強い羊の放牧が、掘り抜き井戸などを利用して大規模に行われている。 |
|--|--|--|--|

問7 南アメリカ大陸の地形的特徴について述べた説明として、正しいものはどれですか。（2019年 埼玉県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 大陸の西側に環太平洋造山帯に属する険しいアンデス山脈が連なり、火山活動も見られる。 | 2. 大陸の中央部をアルプス・ヒマラヤ造山帯が貫いており、エベレストのような高峰が並んでいる。 | 3. 大陸の東側に位置するアンデス山脈は、古期造山帯に分類されるなどらかな山地である。 | 4. 大陸全体が安定陸塊であり、地殻変動がほとんど起こらないため、地震や火山の被害は存在しない。 |
|--|---|---|--|

問8 地球温暖化の対策として導入が進んでいるバイオ燃料は、燃焼時に二酸化炭素を排出するにもかかわらず、大気中の二酸化炭素を実質的に増加させないとされています。その理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2021年 沖縄県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 原料となる植物が、成長過程の光合成によって大気中の二酸化炭素を吸収しているため。 | 2. 化石燃料と比較して、燃焼時に発生する熱エネルギーが非常に効率よく蓄積されるため。 | 3. 燃焼時に発生する成分が、酸性雨の原因となる硫酸化物や窒素酸化物を中和するため。 | 4. 加工の段階で特殊な薬品を混ぜることで、二酸化炭素を酸素に分解する性質を持たせているため。 |
|---|---|--|---|

問9 ある国の統計資料において、人口密度が1平方キロメートルあたり約23人と比較的低く、穀物自給率では米が100%を超えている一方で小麦が50%を下回り、自動車保有台数が100人あたり約17.6台である国として、最も適切なものはどれですか。（2016年 山形県公立入試 類似）

- | | | | |
|--------|-------|---------|------------|
| 1. インド | 2. 中国 | 3. ブラジル | 4. オーストラリア |
|--------|-------|---------|------------|

問10 オーストラリアは1980年代以降、地理的に近いアジア太平洋地域の一員としての立場を強調するようになりました。その一環として、1989年に日本とともに提唱して設立された、太平洋を囲む国や地域が経済的に協力し、自由な貿易を促進することを目的とした組織を選びなさい。（2025年 岐阜県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 1. EU（欧州連合） | 2. ASEAN（東南アジア諸国連合） | 3. UNCTAD（国連貿易開発会議） | 4. APEC（アジア太平洋経済協力） |
|-------------|---------------------|---------------------|---------------------|

問11 ブラジルの自然環境や産業、人々の生活に関する説明として、背景や理由を含めて正しく述べたものはどれですか。（2018年 福島県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 大豆の生産を拡大させるため、ポルトガルからの移民が中心となってアマゾン川の河口付近に大規模な灌漑施設を建設した。 | 2. アマゾン川流域では、高温多雨な気候に適応し、湿気や浸水を避けるための高床式の住居が見られる。 | 3. 内陸部への人口分散を目的として、1960年に首都を沿岸部のリオデジャネイロから内陸のブエノスアイレスに移した。 | 4. 広大なセルバ（熱帯雨林）を保護するため、政府は航空機製造の利益をすべて植林活動に充てている。 |
|---|---|--|---|